

松風だより



令和3年5月1日

花巻市立南城小学校 文責：高橋 彰

南城小児童会の仲間入り『1年生を迎える会』

4月22日（木）の3校時に今年度最初の児童会行事『1年生を迎える会』を開催しました。1年生が兄弟学年である6年生のお兄さんやお姉さんと一緒に花のアーチをくぐって入場（新型コロナウイルス対応のため手はつなぐず）し、会がスタートしました。

6年生による寸劇（コント）まじりの“南城小学校〇×クイズ”では、「校長先生の名前は宮沢賢治である。〇か×か？」という問題で1年生のほとんどが〇のエリアへ駆け込むなど滑稽な場面もたくさんあり、楽しい時間を過ごしました。その後、校歌の歌詞カードやアサガオの種等のプレゼントが1年生に贈られました。そして、1年生に早く覚えてもらうように、2年生から6年生までが声を合わせて校歌を斉唱しました。最後に1年生が呼びかけと歌（ダンスをまじえた）「さんぽ」を感謝の気持ちを込めてお返ししました。

児童会執行部が全体計画と司会進行を行い、6年生は首飾りのプレゼントやクイズの出し物、会場準備などを行いました。5年生はプレゼントとして教室に掲示する校歌の歌詞カードとボールを準備しました。4年生は入退場の花のアーチを、3年生ははじめの言葉と終わりの言葉を担当しました。2年生は入退場の音楽演奏とアサガオの種のプレゼントを用意しました。みんなが協力し合い、ほのぼのとした素敵な『1年生を迎える会』になりました。この会を終えて、1年生も南城小児童会の一員に迎えられました。



南城小学校〇×クイズ



1年生へのプレゼント



退場も6年生と仲良く並んで

今年度も『新型コロナウイルス感染防止対策』を徹底！

新型コロナウイルス感染者が急激に増大しており、花巻市内においても出現してきています。そのため、日常の教育活動を安心して行うために、これまで以上に感染予防対策を実施して参ります。こまめな手洗いと手指の消毒はもちろん、**マスクの常時着用（登校時や下校時も含めて）**を徹底していきます。ご家庭でも朝の検温と健康観察を必ず行ってから登校させるようお願いいたします。また、予備のマスクやハンカチ・ちり紙を携帯させるように毎朝の声かけもしていただきたいと思います。みんなで新型コロナウイルス感染予防対策に努め、5月22日（土）に計画している『運動会』を予定どおり実施することを当面の目標として、学校と家庭一丸となって取り組んでいきたいと考えております。

昨年の7月中旬から『緊急スクールサポートスタッフ』として本校に配属された泉澤裕子さんが今年度も継続して勤務することになり、毎日数回、校舎内隅々まで消毒作業等に励んでいます。安全な学校運営を推進する上で大変助かっています。



無事故を祈って！『ダルマ目入れ式』

4月16日（金）の朝、令和3年度の『ダルマ目入れ式と交通少年団任命式』を行いました。昨年度は5月中旬に交通事故（下校途中の道路横断時）が起こり（幸いその児童は大事には至りませんでした）、ダルマに両目を入れることができませんでした。今年は誰一人交通事故に遭わないで無事故で1年間過ごせるように新しいダルマの片方の目に筆で墨を入れました。交通少年団副団長の6年1組の幅下瑠華さんと6年2組の西村千隼さんがダルマを持ち、交通安全協会花巻支会南分会長の山本峯可さんが目を入れました。その後、花巻警察署交通課課長補佐兼交通企画係長の坂本精氏より、各地区の地区長と副地区長に交通少年団の任命証を授与していただきました。団長として任命証を受け取った6年3組の加藤獅悠さんが、集団登校はもちろん、下校時や地域での暮らしの中でも、児童全員が交通安全に努めいくと誓いの言葉を述べました。来年のダルマ目入れ式で令和3年度のダルマの両眼が開くことを心より願っております。



交通安全を祈願してダルマへの目入れ



交通少年団に任命された地区長と副地区長

「集団登校の歴史」についてお話ししました。

ダルマ目入れ式の中で、交通安全に関わって「集団登校の歴史」について次のようなお話をしました。今から58年ほど前、昭和38年頃のことです。山の神の道路に橋を架ける工事が進められ、南城小学校の近くをダンプカーをはじめ、大型トラックが朝からものすごい数通行するようになったのだそうです。

そこで、通学路を安全に登校できるように、地区ごとに班を作り、高学年が低学年のお世話をしながらまとまって登校するという集団登校が始まり、現在に至っているというのです。それほど長い歴史のもつ活動なのです。かけがえのない自分たちの命を守りながら通学するために、高学年は親身になって低学年を誘導し、低学年は本気になって高学年の注意を聞いてしっかり並んで歩くことが集団登校のあるべき姿なのです。この南城小学校の歴史ある取り組みの意味を理解し、きちんとひとまとまりになって歩く速さも調整しながら、交通ルールを守って安全な登校に努めていきましょう。

登校時にはありませんが、昭和42年の2月に瀬畑踏切で、昭和47年10月には松原陸橋下線路で列車にひかれて本校児童が亡くなるという悲しい事故が2件も起こっています。そのことで、南城地区では集団登校をはじめ、登下校時等の交通安全に対する意識が更に高まったといえます。昨年の6月中旬に、本校児童が瀬畑踏切横断中に、遮断機が降りてきているのに急がずにゆっくり歩いたため、列車を停車させてしまうという事案も発生しました。皆さん、踏切横断も含め、自分の通学路を安全に登下校するために自分はどうなことに気を付けて歩行しなければならないのか、本気になって考えてください。



※ この週は、交通安全教室と火災を想定した避難訓練も実施しました。児童一人一人が「自分の命は自分で守る」ということを真剣に考える学びになったものと信じています。